

はじめてのmicro:bitプログラム (参考資料)

Microsoft MakeCodeはMicrosoftが無料で公開している、オンラインのプログラミング学習環境です。
micro:bitは、イギリスのBBC（英国放送協会）が主体となって作った、手のひらサイズの教育向けマイコンボードです。
micro:bitは、micro:bit教育財団の商標です。

プログラム①：アイコンを表示させる

LEDにアイコンを表示させる



◆ダウンロードについて

- ・プログラムを変更したら、毎回ダウンロードを行う必要があります。
- ・タブレットとmicro:bitをUSBケーブルでつないでダウンロードする場合は、micro:bitのダウンロードの点めつが終わってから、USBケーブルを外すようにします。

プログラム②：アイコンを点めつさせる

アイコンを点めつさせる



◆一時停止を追加する理由

- 「ずっと」の中のプログラムの命令は、上から順番に実行され、下まで実行するとまた上から命令が実行されます。
- プログラムの動きはとても速いので、「アイコンを表示」と「表示を消す」だけをくり返すと、2つの命令が連続して実行され人間の目に見えなくなってしまう。
- 「一時停止」を間に入れると、「アイコンを表示」を実行してから、指定した時間が経ってから、「消す」が実行されるようになります。逆に、「消す」から「アイコンを表示」についても同じです。こうすることで結果が人間の目にも見えるようになります。
- 「一時停止」はミリ秒で指定するので、1秒停止する時は「1000」を指定します。0.5秒の場合は「500」を指定します。

プログラム③：micro:bitの動きでプログラムを動作させる

ふったらアイコンを点めつさせる



◆micro:bitの動き



micro:bitをふると、
アイコンが点めつします。

◆リセットボタンについて

- ・micro:bitの後ろにあるリセットボタンを押すと、プログラムのスタート状態に戻り、アイコンの表示が消えます。



リセット
ボタン

micro:bit V2